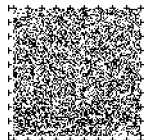


『ちよこつと』では、就労継続支援B型事業所ちよこつとの利用者が、野菜の生産から調理・接客までを担っています。活動拠点の高江未来学校（旧高江中学校）を中心に野菜を生産しています。

利用者が生産した新鮮な野菜は、料理に使うのはもちろん、無人販売やマルシェのほか、薩摩川内市内の店舗でも販売しています。代表の本村修さんは、「ランチに来られた方にも施設利用者が丹念に育てた野菜や苗を購入していただいています。『立派な苗だね。新鮮な野菜でおいしかったよ』という生の声を聞けることが、利用者たちのやりがいにつながっているんです。」と嬉しそうにお話しくださいます。

カフェを立ち上げるきっかけは、利用者の皆さんにもっと活躍の場を提供したいという思いがあったそうです。カフェを運営することで、野菜の生産・加工・調理だけでなく、接客や後片付けに加え、箸袋やポップの作成など、お客様の『目に見える』



## 古民家カフェ「ちよこつと」(合同会社情熱家)



本村さん「いいチームワークで皆“職人”。おいしいものを作る為頑張っています。」



ランチは700円。峰山地区の方は500円で提供しています。



平日にもかかわらず、賑わいをみせていました。



建物も土地も近所の方から受け継いだ、見守られて支えてもらえる素敵な場所です。



自慢のコロッケは、じゃがいも・かぼちゃ・里芋など季節によって様々。

作業を利用者に提供することができます。カフェを主に担当するもう一人の代表 田原千穂子さんは、「利用者の中には、『自分の作業はカフェのためにやっている。一人でも欠けるとカフェが大変だから休んでいられない!』と語ってくれる人もいて、本当に嬉しいです。」とお話しくださいました。また、カフェのスタッフとして働く利用者の児玉節子さんは、「家にいるよりカフェで働くのが楽しいの!他のスタッフやお客さんのために頑張りたいと思っていたら、不思議なことに体の痛みを感じなくなってきた。」と笑顔でお話されました。

おすすめの料理は、さつまいもなど季節の食材を使ったコロッケと、新鮮野菜をふんだんに使用した小鉢です。日替わりランチには、多くのおすすめ小鉢がついています。カフェの入り口を広々とした土間にしたこともこだわりです。

『古民家カフェ「ちよこつと」』は、皆が集まれる『地域共生の場』にしたいという思いもあるんです。土間があれば、足が不自由な方も農作業の合間の方も、足元を気にせず気軽に入れるでしょう。これが好評なんです!と発案者の田原さん。

オープン当初から毎日来店している峰山地区のお客様は、「家に帰れば一人だけ、ここに来れば皆に会える。ご飯のおいしさはもちろんだけど、利用者さんやお客さんたちとお話するのも楽しみのひとつなんです。」と教えていただきました。

利用者ができることを「ちよこつと」ずつ作業し、「ちよこつと」ずつ力を集めて、たくさん笑顔が集まる古民家カフェ「ちよこつと」へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

### 古民家カフェちよこつと (合同会社情熱家)

〒895-0131 薩摩川内市高江町 571 番  
TEL : 0996-41-3918 FAX : 0996-41-4526  
HP : <https://www.jonetsuya.net/>  
営業時間 : 11 : 00~15 : 00 (LO 13 : 30)

